

| | | | | |
|-----------------------|---|--|--|----------------|
| 科目分類 | 基礎分野 | 学 年 | 1 年 | 担当教員の氏名・職名 |
| 授 業 科 目 名 | 日本語表現法 | 学 期 | 前 期 | 川 戸 修 司 |
| | | 単 位 数 | 1 | |
| | | 時 間 数 | 30 | |
| 目 的 (ねらい) | コミュニケーション能力向上のためには、自覚的に言語を使いこなす能力が必要とされる。そのために日本語による表現技術や、文章表現についての知識を深め、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。 | | | |
| 目 標 | 1. レポート、作文の執筆を通して、自分自身の考えやありかたを振り返る。 2. レポート、作文の執筆を通して、あるべき看護師像を模索する。 3. 社会人として必要とされる日常的な文章作成（原稿用紙の使い方、書簡文の書き方）のマナーやルールを理解する。 | | | |
| 授 業 計 画 | 回数 | 単元項目 | 内容 | 授業形態 |
| | 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 | オリエンテーション 私の体験① 私の体験② 私の体験③ 私の体験④ 私の体験⑤ 文学作品を読んで① 文学作品を読んで② 文学作品を読んで③ 文学作品を読んで④ 文学作品を読んで⑤ 論理的文章の書き方① 論理的文章の書き方② 論理的文章の書き方③ まとめ | オリエンテーション (作文の書き方、課題説明) 優秀作品紹介 作文作成 | 講義/演習/ 課題学習 |
| 教 科 書 | 特になし | | | |
| 参 考 文 献 | 特になし | | | |
| 評 価 方 法 | 提出されたレポート、作文を通じて総合的に評価する。 100点満点での結果を最終評価とする。 | | | |
| 関 連 科 目 | 基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、在宅看護論、看護の統合と実践 | | | |
| 自 己 学 習 に 関 する 指 針 | 自己とその経験について日常的に振り返り、意識的に考える習慣を身に付けるよう、努力していただきたい。 | | | |
| そ の 他 の 通 知 事 項 | | | | |

